

第2章 まちづくりの分野



第1節 共育の架け橋、明日へのまちづくり

まちづくりの分野

1-1

子育て支援

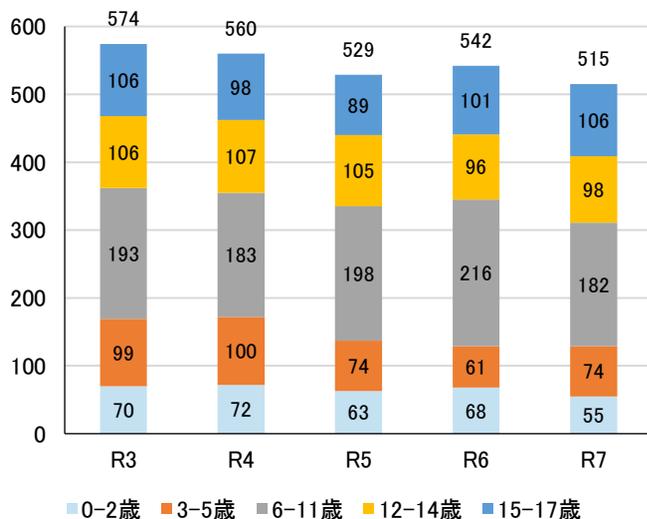
主な担当課：福祉介護課

学校教育課

現状と課題

- 全国的に急速な少子化が進む中、核家族化の進行や地域社会との繋がり希薄化、共働き家庭の増加など子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、社会情勢の変化に対応しつつ、切れ目のない子育て環境の充実を目指してきました。
- 平成30年度からの保育料完全無償化や出産祝金、乳幼児家庭子育て応援金など、国・県に先駆け他自治体より手厚い支援に取り組んできました。
- 保育・教育を担う町内唯一の施設こゆりこども園では、保護者と保育者の共通理解を図るとともに、保護者の不安を解消し、多様できめ細やかな保育・教育サービスの充実と質の向上を図っていきます。
- こども園内に設置された子育て支援センターにおいて、妊娠から出産、子育て期まで切れ目ない伴走型相談支援の充実を図っていきます。また、支援を必要とする子育て世帯に対し、保育士や学校、その他関係機関と情報を共有し、緊密な連携を図っています。
- 沖縄交流や英語教育・異国文化体験事業など、今後も様々な文化や地域との交流機会の創出を継続していきます。

西会津町の子どもの数の推移(人)



資料：住民基本台帳

こゆりこども園児数の推移(人)



資料：住民基本台帳

こんなまちになったらいいな

- 少子化の中でも、地域全体で協力し、安全・安心な子育て環境があるまち
- 親子共に心豊かに成長できるまち

実現に向けた4年間の取組の方向性

幼児教育・保育アドバイザー、学校教育アドバイザーを継続して配置し、こども園、小学校、中学校が隣接している環境を活かし、保小中連携教育カリキュラムを実践し、架け橋期における保小連携を継続的に行い、こども園から小学校へのスムーズな進学と家庭の教育力向上を図っていきます。

子どもの育ちを応援するために、こども園等での良質な成育環境と様々な体験機会の提供に加え、各種施策の充実により、全ての子育て家庭に対する支援を強化し、地域全体で子育てを支えています。

実現に向けた4年間の具体的な取組

1 新たな保育サービスの整備

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備します。

主な実施事業	①こども誰でも通園制度 ※保護者の就労状況に関わらず、生後6ヵ月から満3歳未満の未就園児が 時間単位でこども園を利用できる制度
--------	---

2 幼児教育の推進

子どもが健やかに成長するために必要な幼児教育を、保護者、地域、学校と連携を図り推進します。

主な実施事業	①幼児教育の充実（体験活動等） ②「架け橋プログラム」によるこども園・小中学校・家庭の連携 ③家庭の教育力向上
--------	---

3 各種子育て支援

子育て支援センターの充実や保育料無償化などの経済的負担の軽減、病後児保育事業の実施、そして地域が一体となった子育て支援体制の充実などにより、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

主な実施事業	①町内企業への子育て支援策の啓発活動 ②母子保健事業の充実 ③こうのとりサポート事業(不妊・不育治療) ④出産祝金 ⑤乳幼児家庭子育て応援金 ⑥子育て医療費サポート事業 ⑦産後ケア事業 ⑧インフルエンザワクチン接種事業 ⑨病後児保育事業 ⑩休日保育の実施・延長保育の拡充の検討 ⑪アウトリーチ型支援*の強化 ⑫子育て広場の活動充実と利用促進 ⑬ひとり親支援事業 ⑭ファミリー・サポート・センター運営体制の検討 ⑮子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」の活動充実
--------	--

*アウトリーチ型支援:必要な時に支援とつながれる、つながりやすい関係性づくりを主な目的とした訪問型支援。

4 子どもの交流機会創出

子ども達の視野が広がるように、身近な地域とともに他の地域の人々や文化と交流する機会を設けます。

主な実施事業	①沖縄交流事業 ②英語教育・異国文化体験事業 ③芸術・文化鑑賞会での交流 ④自然・農業体験の充実
--------	---

みんなで取り組むこと

- ・親子で参加できる学びの場に積極的に参加します。
- ・安全でみんなが安心して過ごせる場所づくりに取り組みます。
- ・子育て家庭の日常の困りごとを協力して解決できる環境づくりを目指します。

数値目標（KPI）

目標名	現状値 (令和7年)	目標値 (令和11年)	目標値 (令和15年)	目標設定の説明
出生数	21人 (R2~6年平均)	25人 (R7~10年平均)	25人 (R11~14年平均)	子育て支援の充実や若者の移住定住の促進などにより出生数を増やす
子育て広場の年間利用者延べ人数	1,000人	1,200人	1,200人	子育て広場の活動により子育て世帯の仲間づくりや体験活動を支援する
妊婦等への伴走型支援訪問回数	35回	55回	55回	妊婦や配偶者等に対し、面談等により情報提供や相談を行う



▲放課後児童クラブ「ひだまり子どもクラブ」



▲こゆりこども園 運動会



▲こゆりこども園 発表会



教育環境

現状と課題

- 急速な情報化・技術革新が進み、将来の変化を予測することが困難な時代となり、次代を担う子ども達には学力や体力はもとより、助け合い自らの力で課題を解決できる力などの「非認知能力」の育成も含めた教育が望まれています。
- 町では、国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校のICT環境を整備し、児童生徒に1人1台のタブレット端末を配付しており、ICTを活用した教育が進んでいます。これにより、個に応じた学習や主体的な学習が展開しやすくなる一方、児童生徒が責任を持ってタブレット端末やインターネットなどのデジタルツールを適切に活用するための知識や能力（デジタルシティズンシップ）の育成が求められています。
- 町に受け継がれてきた地域の教育力などの時代を超えて変わらない価値があるもの（不易）と産官学民の知のリソース*の活用などの時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）を融合した教育の実践により、個別最適な学びと協働的な学びを推進しています。
- 町にはこども園1つ、小学校1校、中学校1校となっており、保小中の一貫したカリキュラムの活用により連携教育を強化しています。
- 平成29年度から取り組んでいる地域学校協働本部事業に加え、令和2年度に学校運営協議会が設置され、小中学校がコミュニティスクール*となったことで、地域・学校・家庭が一体となった教育活動を展開する組織が整い、「地域に開かれた教育」を展開しています。
- 県が策定した県立高等学校改革実施計画において、西会津高校の1学級・本校化の方針が示されていますが、生徒数は減少傾向にあります。西会津高校では令和7年度から介護職員初任者研修の資格取得ができるようになり、町としても高校の魅力度向上と町内への就職先の確保を支援していきます。
- 町では、令和7年度に中学生を対象とした公営塾を設置し、学びの習慣化と基礎学力の向上に取り組んでいます。
- 子どもたちの主体的な学びを推進するとともに地域との積極的な交流を図るため、充実した小中学校の環境を活かして、プログラミングや国際交流、健康スポーツなど多様な学びの場を提供する「西会津学びあいランド」を開設し、地域に開かれた学校を目指していきます。

*産官学民の知のリソース：産業（企業）、官公庁（国・地方自治体）、学校（大学・研究機関）、民間（地域住民）のそれぞれが持つ知識・経験などの資源。

*コミュニティスクール：学校運営協議会を設置して、保護者、地域、学校が一体となって、地域と共にある特色ある学校を運営する仕組み。

こんなまちになったらいいな

- 地域や他の教育機関との積極的な交流を通じて、自然体験や主体的な学習ができるまち
- 子どもたちの好奇心と広い視野を育む教育環境が充実しているまち

実現に向けた4年間の取組の方向性

町に受け継がれてきた地域の教育力を活用した「不易」の学びと産官学民の知のリソースやICTを活用した「流行」の学びを融合し、主体的・対話的な深い学びを実践するとともに、ふくしま学力調査やリーディングスキルテスト*の結果の分析・把握により得られる客観的な根拠に基づいた「個別最適な学び」「協働的な学び」により、児童生徒の非認知能力を含めた学力の向上に努めます。

コミュニティスクールを推進し、地域・学校・家庭が一体となった特色ある学校づくりや学習活動の充実に努めます。

認定こども園と小中学校が隣接している環境を生かし、園と学校間の情報共有や家庭も含めた緊密な連携による教育を推進します。

*リーディングスキルテスト：事実や根拠に基づいて書かれた文章（教科書や辞書、新聞など）の意味や内容を読み解く力を測定・診断するテスト

実現に向けた4年間の具体的な取組

1 学校教育の充実

教育の不易と流行を継承し、町の歴史や自然を活用した体験活動を通して非認知能力の育成を図るとともに、新しい学びも積極的に取り入れながら、確かな学力や豊かな心、健康な体を育み、未来を拓く子ども達を育成します。

主な実施事業	<ol style="list-style-type: none">①SDGsの視点に立った教育活動の推進②ふくしま学力調査やリーディングスキルテストの結果分析・把握による学力向上③ICTを効果的に活用した授業改善及び家庭学習の充実④産官学民のそれぞれが持つ知識・経験を活用した教育の推進⑤道徳教育等による情操教育の充実⑥英語力の向上のための英語検定補助金及び英語教育・異国文化体験事業の実施⑦教職員の指導力向上を図る校内研修の実施⑧戸田市との教育交流提携に基づく児童生徒交流及び教職員研修の充実⑨アントレプレナーシップ教育*による地域活性化の推進⑩デジタルシティズンシップ教育*によるICTの効果的な活用⑪食育及び地産地消の推進⑫「福祉と教育の連携」による特別支援の充実とインクルーシブ教育*の推進⑬教育活動の充実のための学習アプリ等の教材・備品の整備⑭学校施設の長寿命化のための計画的な修繕・改修⑮給食センターの適切な維持管理による安全・安心な給食の提供⑯学習習慣の定着を図るための公営塾の開設及び運営
--------	--

*アントレプレナーシップ教育：問題解決のための情報収集、企画力、実行力など起業家的な精神と資質・能力を育む教育

*デジタルシティズンシップ教育：デジタル社会において責任ある行動をとり、社会をより良くするための能力を育む教育

*インクルーシブ教育：障がいの有無に関わらず、すべての子どもが一緒に学べる教育

2 学校・家庭・地域の連携

学校を核として地域住民などの参画を得ながら、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるための様々な学校支援活動を展開するとともに、また、こども園・学校・家庭が連携し、子ども達の健やかな成長を支援します。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">①コミュニティスクールの推進②地域に開かれた「学びあいランド」の運営・推進③地域学校協働本部事業の強化 放課後子ども教室事業、学習支援事業、学校応援・地域交流事業、家庭教育支援事業（こころのオアシス）④体験活動・交流機会の充実⑤「架け橋プログラム」によるこども園・小中学校・家庭の連携⑥西会津国際芸術村との連携⑦自然・農業体験の充実
--------	--

3 西会津高校及び町内在住高校生の支援

西会津高校が取り組む魅力ある学校づくりを県や同窓会、PTAと連携しながら支援するとともに、町内在住の高校生への支援に取り組みます。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">①西会津高校活性化対策事業（通学費・進路支援・生徒活動・就学資金貸付金）②西会津高校学校運営協議会への参画③西会津高校での介護職員初任者研修の資格取得の支援④町内在住の高校生への支援
--------	--

みんなで取り組むこと

- ・地域の伝統や文化、知識を子どもたちに教えます。
- ・地域の声を教育へ反映し、子どもたちが多様な視点で学べるような環境整備をサポートします。
- ・子どもたちが多世代との関わりや実体験を通じて社会性を学ぶための場を提供します。
- ・家庭での読書や学びを通じ、家庭教育に積極的に関わります。
- ・児童生徒と触れ合いながらコミュニケーション能力ややり抜く力を育みます。



▲架け橋プログラム（保小合同のイモ掘り）



▲こども研幾塾（出ヶ原和紙づくり）

数値目標（KPI）

目標名	現状値 (令和7年)	目標値 (令和11年)	目標値 (令和15年)	目標設定の説明
自分には良いところがある（自尊感情・自己肯定感）と感じている割合	小6:93.1% 中3:85.1%	85%以上	85%以上	子どもの自尊心や自立心などを育てる ※対象となる児童・生徒が調査年度で変わることから、85%以上を維持することを目標とする (該当年度の小6及び中3の全国学力・学習状況調査)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することができる（している）割合	小6:89.6% 中3:70.3%			
リーディングスキルテストにおける能力値*0以上の児童生徒の割合	6分野7項目*の割合の平均 小6:10% 中3:53%	6分野7項目の全てが 小6:30%以上 中3:60%以上	6分野7項目の全てが 小6:30%以上 中3:60%以上	中学生の平均的な値を示す能力値0以上の児童生徒を一定割合以上とする

*リーディングスキルテストにおける能力値:受検者全体(小学6年生から社会人まで)での相対的能力を示し、能力値0は中学生の平均的な読解力を表す基準値

*6分野7項目:①係受け解析…文の基本構造を把握する力

②照応解決…代名詞などが指す内容を認識する力

③同義文判定…2つの文の意味が同一かどうかを判断する力

④推論…論理的に推論する力

⑤イメージ同定…文と図表などの非言語情報を正しく対応させる力

⑥具体例同定…(辞書)辞書の定義を用いて新しい語彙とその用法を獲得する力

(数理) 数理的な定義を理解し、その用法を獲得する力



▲町公営塾「光桐スタディ」



▲プログラミング教室

生涯学習

現状と課題

- 歴史を礎としつつも、個人の価値観やライフスタイルの変化デジタル化の進展などの時流に乗って生涯学習へのニーズが多様化しています。町民が生涯にわたって学び、生きがいのある生活を送ることができるような環境づくりが必要です。
- 少子高齢化と人口減少を背景に、多世代に渡る活動が見直されています。誰もが気軽に参加できる機会と共に「学び」を通じて習得した知識や能力を活用するあらゆる機会を創出する必要があります。
- 町民が主体的に発表の場を設け活動していますが、新たな団体が生まれる一方で、これまでの団体の衰退が進んでいます。状況に応じた活動支援が求められます。
- 町民の学びの場の拠点となる公民館施設は、野沢地区の中心部に位置しますが、用途における不便さに加え、築55年を経過し老朽化が進んでいます。現施設とは別に季節に左右されることなく活動できる、学びの新たな拠点の場を創り出すと共に、跡地利用も並行して進める必要があります。
- 読書活動は基金を活用して新刊を購入し、広報紙やケーブルテレビ等で継続して広報に努めてきましたが、利用者が固定化しています。町民誰もが足を運べる図書館を目指し、町民一人ひとりが自主的に読書活動を行えるよう引続き取り組む必要があります。



▲町公民館



▲生涯学習発表会

こんなまちになったらいいな

- 世代を超えて多様な交流ができるまち
- 誰もが気軽に学び、生きがいを見つけることができるまち

実現に向けた4年間の取組の方向性

一人ひとりが健康で充実した人生を送れるような講座・教室など、社会状況に合わせた取り組みをしていきます。

地域との交流や地域資源を生かした体験活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力や自制心・やり抜く力などの非認知能力の向上を図っていきます。

町民の主体的な生涯学習活動を支援し、発表の場を設けていきます。

学びの拠点となる公民館機能は、施設整備や機能移転などの複数案をまとめ、具体的な検討を進めます。

図書館の利用促進に向け、新刊案内や図書館事業などの広報を継続的にを行います。

実現に向けた4年間の具体的な取組

1 各種講座・教室の開催

講座・教室の内容は、町民一人ひとりが学ぶ意欲が高まるように努めます。人が集まるところに求める内容に応じて出向くなど、各種団体と連携して事業に取り組みます。また、町内の歴史や文化の学習に力を入れ、LINEやホームページ等で広く周知するなど、参加者の拡大を図ります。

主な実施事業	①各種教室・講座の開催 ②出前講座の開催 ③歴史や文化に関する講座・教室の開催
--------	---

2 学校と連携した学びの場の創出

地域と学校が連携し、地域で子ども達の学びを支えるとともに、学校施設を活用して町民も学習します。

主な実施事業	①コミュニティスクールの推進 ②地域学校協働本部事業の強化 放課後子ども教室事業、学校支援事業、学校応援・地域交流事業、家庭教育支援事業（こころのオアシス） ③地域に開かれた「学びあいランド」の運営・推進
--------	---

3 発表と交流の場の創出

町民の生涯学習の発表の場を設け、交流を通して、自ら習得したものを地域へ広めます。

主な実施事業	①生涯学習発表会の開催 ②作品展示会の開催
--------	--------------------------

4 生涯学習活動施設・機能の整備に向けた検討

町民誰もが生涯学習活動や文化活動を気軽に行えるような施設の整備や既存施設の利活用を検討します。

5 図書館（室）利用の促進

中学校の町民図書館や奥川支所の図書室を一体的に活用できる環境を整え、幼児から高齢者まで本に触れる機会を増やしていきます。

みんなで取り組むこと

- ・地域の講座や教室、体験活動などへ積極的に参加します。
- ・自身の趣味や関心を基に町の生涯学習活動に積極的に参加します。
- ・新しい学びの場を提案・企画し、地域の学びを豊かにします。
- ・施設整備や機能移転についての議論に参加し、具体的な意見を提供します。

数値目標（KPI）

目標名	現状値 (令和7年)	目標値 (令和11年)	目標値 (令和15年)	目標設定の説明
出前講座開催数	34回	36回	40回	人が集まるところに出向き、参加者を拡大する
生涯学習発表会 などの参加団体数	12団体	12団体	12団体	生涯学習団体を支援し、発表会の参加団体を現状維持する
中学校町民図書館 貸出冊数	18,752冊	18,900冊	19,000冊	読書活動を推進し、図書の貸出し冊数を増やす



▲おひざにだっこの会



▲夜の朗読会



▲スノーシュー体験教室



▲自然探勝講座



第1節 共育の架け橋、明日へのまちづくり

まちづくりの分野

1-4

スポーツ

主な担当課：生涯学習課

現状と課題

- モルック、ボッチャなどのニュースポーツを通し一人でも多くの方にスポーツへの関心を持ってもらい参加してもらえるよう努めています。サロンや老人クラブなどの高齢者団体には浸透してきましたが未だ多くの方が継続して取り組めていない状況です。
- さゆり公園体育館と野沢体育館には空調設備が設置されました。令和7年度には西会津中学校体育館に空調設備が設置されます。
- さゆり公園の運動施設は、指定管理者制度を活用して管理しており、年次計画に基づいて修繕を行っています。一方で、野沢体育館など他の社会体育施設は町直轄管理で、これまで各地区のスポーツ協会支部や利用団体などが主となり維持に努めてきましたが、近年の情勢から特にグラウンドの管理が困難になっています。
- スポーツ協会やスポーツ少年団、各種スポーツ関係団体を支援し、協力しながら事業を行っています。スポーツ少年団は少子化による団員数の減少や指導者育成などの課題に、本部を設置し取り組んでいますが、維持が難しくなっている種目もあります。また、スポーツ団体によっては、行政に依存した運営や活動体制が続いているものもあります。
- 市町村対抗駅伝など各種スポーツ大会へ積極的に参加しています。しかし、少子高齢化により、大会参加にあたっての選手及び係員などの人材の確保が年々困難になっています。
- 西会津スポーツクラブは、子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持つ総合型地域スポーツクラブとして、地域住民により自主的・主体的に運営されています。クラブには、スイミングやヨガなど10種の教室があり、令和6年度は62人で活動しています。



▲町民カローリング大会



▲市町村対抗福島県ソフトボール大会

こんなまちになったらいいな

- スポーツを通じた心と体の健康づくりを推進し、生涯スポーツが楽しめるまち
- 住民全体が多様な形でスポーツを楽しみ、活動的なライフスタイルを実現できるまち

実現に向けた4年間の取組の方向性

各種団体と連携しながら、スポーツの普及と発展に努めます。また、団体の機能強化を目指し、自立した運営ができるよう支援します。

持続可能なスポーツ活動ができる社会の実現に向け、ニュースポーツの普及を促進します。

学校体育施設の開放を推進し、活動場所の拡充に努めます。

西会津町チームとして各種大会参加ができるよう選手の育成に努めます。併せて、関係する町民数の増加を図ります。

実現に向けた4年間の具体的な取組

1 スポーツ環境の整備

スポーツ活動の普及と促進、さゆり公園運動施設の適正な維持管理など、誰もがいつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しめる環境を整備します。

主な実施事業	①西会津スポーツクラブの育成 ②ニュースポーツ等の普及 ③さゆり公園施設の計画的な維持修繕 ④学びあいランド（スポーツランド）の推進
--------	---

2 スポーツ団体等支援

各種スポーツ団体やスポーツ少年団などの自主的な活動を支援するとともに、活動の周知を図ります。

主な実施事業	①スポーツ大会参加補助金 ②西会津町スポーツ少年団育成補助金 ③西会津町スポーツ協会育成補助金 ④西会津スポーツクラブ育成補助金
--------	---

3 競技力向上のための支援

各種スポーツの競技力向上や指導者の育成に努めます。

主な実施事業	①各種資格取得講習会・勉強会等の情報提供と参加支援 ②各種市町村対抗スポーツ大会への参加
--------	---

みんなで取り組むこと

- ・スポーツ活動やニュースポーツ普及の取り組みに参加することで、団体の運営を支え、地域スポーツ活動の活性化につなげます。
- ・地域の子どもや若者がスポーツに親しめる環境づくりを支援します。
- ・町チームの選手を応援し、町内のスポーツ活動の熱意や関心を高めます。
- ・SNS や地域の広報媒体を活用し、町のスポーツ活動の魅力を広めます。

数値目標（K P I）

目 標 名	現状値 (令和7年)	目標値 (令和11年)	目標値 (令和15年)	目標設定の説明
西会津スポーツ クラブ会員数	62人	65人	70人	西会津スポーツクラブの充実を図り、 会員数を増やす
施設利用登録 スポーツ団体	13団体	14団体	15団体	スポーツ団体を支援し、活動を活性化 させる
さゆり公園 スポーツ施設 年間利用者数	40,379人	42,397人	44,517人	施設の適切な維持管理と各種スポー ツの普及により利用者を増やす



▲モルック



▲キッズランニングクラブ



▲市町村対抗福島県軟式野球大会



▲グラウンドゴルフ

歴史・文化・芸術

現状と課題

- 過疎化や少子高齢化の進行により人口が減少し、地域文化の担い手確保ができなくなり、長い間守られてきた文化財の維持管理や伝統行事の継続が困難なものもあります。一方で集落支援員や地域おこし協力隊が活動の補助を行って、復活した行事もあり、今も続いています。
- 人口減少のほか、若年層の趣味・興味・関心の多様化、生活様式・社会情勢の変化などで実演が困難になってきている伝統芸能があります。これからは次世代に継承していく方法を検討する必要があります。
- 町制施行70周年記念事業として町の自然・歴史・文化などをわかりやすく書いた冊子『にしあいづ学』を作成し、町内全戸に配布しました。これからはこの冊子を活用した小中学校での授業や公民館講座などを開催することで、町の歴史・文化を知ってもらい、後世に語り継いでいくことが重要になります。
- 町で所有している埋蔵文化財や民俗資料などは、廃校施設を利用して良好な状態で保管していますが、現時点では公共施設のスポット展示や「西会津学びあいランド」に展示しているのみです。これからはデジタル技術などを駆使して、多くの人に知ってもらう方法を検討する必要があります。
- 町民美術展、生涯学習発表会などを開催し、民間の団体・サークルが主体となって展示発表を行っているほか、町民音楽鑑賞会や国際芸術村の公募展・企画展、役場町民ホールの「ミニミニ美術館」など芸術文化にふれあう機会を提供しています。また、ふるさとまつりでは、小中学生の作品などの展示も行っています。



▲西会津学びあいランド



▲町民美術展

こんなまちになったらいいな

- 歴史・文化・芸術を身近に感じることができ、観光につながる文化の薫りを感じられるまち
- 子どもから大人まで、楽しく地域の歴史・文化を学び、継承していくまち

実現に向けた4年間の取組の方向性

子どもから大人まで町の歴史・文化を知ってもらえるよう、町民に対する歴史文化の周知・啓発活動を行っていきます。また、作成した『にしあいづ学』を活用した小中学校の授業や公民館の講座を実施していきます。古文書や写真・動画などさまざまな歴史資料をデジタル技術を使って整理・保存していきます。また、そのデータを活用したデジタル博物館*の創設を目指していきます。さまざまな展覧会や音楽鑑賞会などを開催し、芸術文化に触れる場所や機会を作り、芸術文化の薫り高いまちづくりを進めていきます。

*デジタル博物館：インターネットを使って町の歴史を説明したり、文化財などの写真を見せたりするコンテンツ

実現に向けた4年間の具体的な取組

1 歴史・文化等の周知

子どもから大人まで幅広い年齢層に町の歴史や文化を知ってもらうことにより、新たな町の文化の創造と町民のプライドの創生を目指します。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">①歴史や文化に関する講座・教室等の開催②ケーブルテレビや広報紙などを利用した広報・啓発活動の実施③町の歴史文化を次世代に語り継ぐことのできる人材の育成
--------	---

2 歴史資料の保存・活用

埋蔵文化財や民俗資料などの歴史資料を良好な状態で後世へ伝えるため、適正な管理を行います。またあわせてデジタル技術を駆使したアーカイブ化を進めます。

町内には歴史資料を展示する場がないため、インターネットを利用したデジタル博物館を作り、多くの人に町の歴史文化を知ってもらえるようにしていきます。

また、にしあいづ観光交流協会と連携し、町を訪れた観光客に町内の歴史遺産を紹介していきます。

主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">①埋蔵文化財や民俗資料などの整理と保存②「西会津学びあいランド」での文化財の展示③伝統芸能を継承する場の創設④デジタル技術を駆使した歴史資料の整理・保存⑤デジタル博物館の創設
--------	---

3 芸術文化の振興

町民美術展や生涯学習発表会などさまざまな場所で各サークルが活動の成果の展示・発表を行い、芸術に触れる機会を設けることで、芸術文化の薫り高いまちづくりを進めます。

主な実施事業

- ①西会津国際芸術村事業
- ②コンサートや展覧会などの開催

みんなで取り組むこと

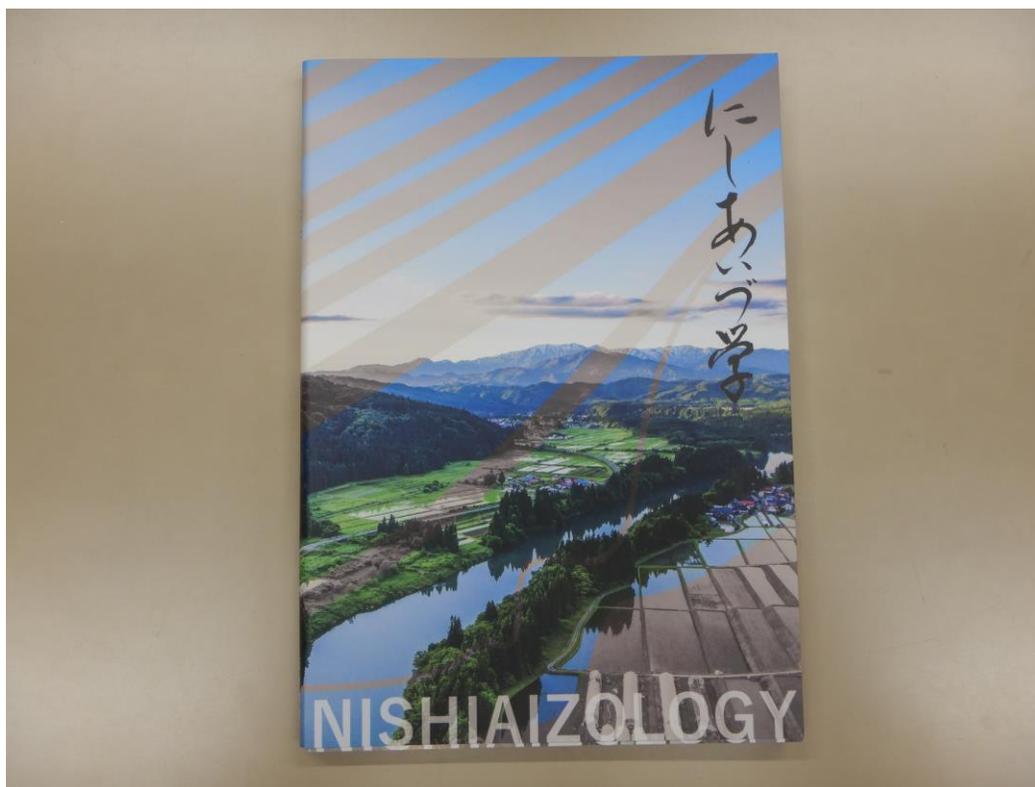
- ・『にしあいつ学』を通じて、町の歴史や文化について関心を持ちます。
- ・学んだ知識や情報を SNS や口コミで広め、周囲の人々が町の歴史文化に興味を持つきっかけを作ります。
- ・展覧会や音楽鑑賞会など、町が開催するイベントに積極的に参加します。
- ・地元で培った歴史や文化の知識を活かし、訪問者や観光客に町の魅力を紹介します。

数値目標（KPI）

目 標 名	現状値 (令和7年)	目標値 (令和11年)	目標値 (令和15年)	目標設定の説明
絵画、写真等の 展示・発表を 行った施設数	5	5	5	芸術等に触れる機会を確保するため、 展示・発表の場の数を維持する



▲国重文円満寺観音堂の除雪作業



▲町の歴史・文化・民俗を学べるガイドブック「にしあいづ学」



▲夏のアート教室